

発行／出雲市経済環境部 環境施設課 次期可燃ごみ施設整備室

〒693-8530 出雲市今市町70

☎0853-21-6886 FAX 0853-21-6597

## 建設及び運営事業者の入札を公告しました。

次期可燃ごみ処理施設の建設運営は、施設の設計(デザイン)、建設(ビルド)、運営・維持管理(オペレート)を民間事業者に包括的に委託する公設民営方式(DBO方式)で実施することとしています。その入札参加条件や本市が求める仕様、落札者決定基準等を10月13日(金)に市のホームページ等で公表しました。

本事業は、本市が求める入札参加条件を満たす企業からの「事業提案」を、事業者選定委員会(下記参照)が、価格面と技術面を総合的に審査し、最優秀提案者を選定します。委員会の報告を受け、来年の6月頃には事業者(落札者)を決定します。

なお、本事業(施設の設計・施工、運営・維持管理(20年間))の予定価格は、304億円(税抜)です。

### 「出雲市次期可燃ごみ処理施設事業者選定委員会」を設置しました。

事業者(落札者)の選定にあたり、公平性を確保して必要な事項を審議するために設置しました。

複数の分野の学識経験者等の5名で組織しています。

- 岡山大学大学院 教授 川本克也 氏(委員長)
- 島根大学 准教授 関 耕平 氏
- 出雲市環境審議会 会長 森本直知 氏
- (公社)全国都市清掃会議  
技術部長 濱田雅巳 氏
- 出雲市 副市長 伊藤 功



長岡市長から各委員に委嘱書が交付されました。(H29.7.24)

### 落札者の決定基準について

これまで3回の委員会を開催し、落札者の決定基準等について審議しました。落札者の決定については、価格だけではなく、施設の整備基本方針である

- ◆安全・安定・安心な施設
- ◆環境にやさしい施設
- ◆経済的・効率的な施設
- ◆エネルギー循環型施設
- ◆災害に強い施設

が実現できる技術的な要素も審査の対象としています。

この委員会の議事録(摘録)は、市ホームページで公表しており、今後も委員会開催後に公表する予定です。



## 環境影響評価（環境アセスメント）の現況調査が終了しました。



市では、環境に配慮した開発事業とするために、環境影響評価を実施しています。建設予定地周辺における環境の現況を把握し、次期施設の建設工事、稼働により周辺地域にどのような影響があるかを調査・予測・評価し、より良い事業計画を作りあげるものです。

平成28年8月から取り組んできた大気質、振動、騒音、悪臭、水質、動物、植物、生態系、景観等の現況調査（現地での測定や観察）を、本年9月に終了しました。

現在、この調査結果等をふまえ、事業による環境変化の予測・評価をし、必要となる環境保全対策を取りまとめた「準備書」を作成中です。

この準備書は平成30年1月に公表する予定です。説明会も開催し、広くその内容に対するご意見を募ります。（公表や説明会の詳しい日程については、広報いずも1月号（12月20日号）、出雲市ホームページでお知らせします。）



大気質濃度・気象の現況を把握するための調査を実施しました。  
（写真：古志町上新宮集会所）



写真：サンコウチョウ（夏鳥）  
広い範囲で確認しました。



ヒメボタル

ゲンジボタル

ヘイケボタル

3種のホタルを確認しました。環境に配慮した施設照明の設置や、工事中の濁水対策による水質の保全に努め、ホタルの生息環境を守っていきます。

### 都市計画説明会を開催します。

次期施設の設置に伴う都市計画変更案の説明会を次のとおり開催します。説明会は、どなたでもご参加いただけます。

と き：11月24日（金）19時～

と ころ：市役所 くまびき大ホール

内 容：出雲市次期可燃ごみ処理施設の位置等

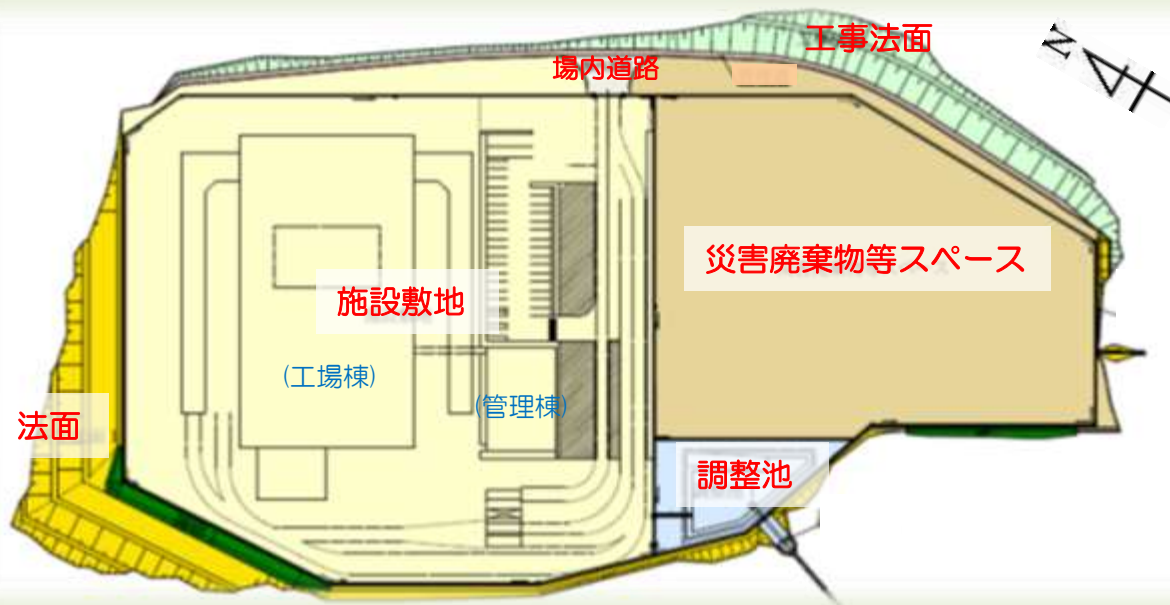
※後日、変更案に対する意見公述会（市がご意見を伺う場）を開催します。詳しくは広報いずも11月号（10月20日号）をご覧ください。

## 現在取り組んでいる各種業務の状況をお知らせします。

### 敷地造成設計業務

平成28年9月から本年6月までの間、敷地造成設計を実施してきました。レイアウトは下記図面のとおりで、工事法面を除いた敷地面積は約3.9haです。

なお、施設敷地のうち、工場棟や管理棟などの配置は想定のもので、詳細は、事業提案を受けて決定します。



### 上水道設計業務

ごみ処理施設を運転するためには、たくさんの水が必要です。建設予定地には上水道がないため、施設に水を送るための水道施設の設計をしています。次期施設は標高約200mの高さに建設するため、数箇所のポンプ所を経由して、施設専用の水道管を整備していきます。



### 水源調査業務

上記のとおり上水道を整備する一方で、地下水を確保し、上水道が送れなくても水が使えるように備えます。

本年9月から建設予定地近くの地点において、ボーリング掘削を行い、地下水の存在が確認されました。これから水量・水質調査を行い、井戸が使用できるようにしていきます。



写真：試験井戸掘削中の様子





# 教えてごみの出し方！

「水銀」が使用されたごみは、どうやって出すの？



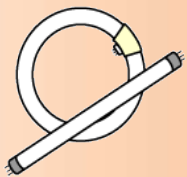
地球規模での水銀汚染の防止を目的とする「水銀に関する水俣条約」が、世界50か国以上で締結され、平成29年8月16日に発効したよ！

「水銀に関する水俣条約」にあわせて、日本では水銀の排出基準が設けられ、市町村に廃棄された水銀使用製品の適正な回収に努力することが義務付けられました。水銀は、人の健康や生活環境に悪い影響を与える可能性がある物質です。

**水銀から人の健康と環境を守るため、ごみは正しく分別しましょう！**

## ～蛍光灯～

蛍光灯には金属水銀が封入されており、1本あたり平均6mgが使用されています。



埋立ごみと同じ収集日に、買い替え時の箱に入れて出してください。  
指定袋はありません。箱に名前を書く必要はありません。

※買い替え時の箱が無ければ、保護できる箱に入れて割れないようにして出してください。

## ～水銀体温計、水銀温度計、水銀血圧計～

体温計は1本あたり1.2g程度、温度計は3.7g程度、血圧計は1台あたり48gの金属水銀が含まれています。(蛍光灯200本から8,000本に相当する水銀です！)



埋立ごみと同じ収集日に、透明・半透明の袋に入れ、名前を書いて出してください。  
指定袋はありません。

## ～ボタン電池～

ボタン電池のうち、品番が「PR」「SR」「LR」で始まるものには水銀が含まれています。



市では回収できません。リサイクル協力店(電気店)へお持ちください。  
なお、品番が「CR」「BR」で始まるものは、市役所環境施設課及び支所環境担当課で回収しています。

(注) 補聴器、電動式おもちゃ、腕時計、家電リモコン、電卓、歩数計などにもボタン電池が入っているものがあります。ボタン電池は取り外してから廃棄しましょう。